

ジャカルタ国立大学の日本語学科の4学期における日本語動詞につける
使役の用法についての誤用分析

Shabila Arben

概要

A. 背景

現在外国語はすでに社会のなかに重要なことになる。聞き手へのメッセージが伝わるため、言語が適切に使われ、両者が言語運用力を持っていると認められる。言語における技能は聴く技能、話す技能、読む技能、書く技能、という四技能がある。

学習者による、日本語は難しい外国語のひとつである。インドネシア語と日本語の文字や構文や文法などが異なるですから、日本語の文を作るとき、間違えることが多い。

使役は相手にある行為を命令という説明である。客語のなかに使役文があるから、学習者は日本語の使役文を作るとき、母語と同じパターンを使用する。学習者は使役をわかるために、使役動詞の作り方や上司の使い方や使役の意味もよく勉強して、何回も練習することが必要である。このようなことを不注意すると聞き手へのメッセージが伝えるとき誤認が生じることができる。

本研究は使役の用法に対する誤用分析を行った。この誤用分析は使役の誤用の要因になるということを知るためである。誤用の要因を知るとともに使役の誤用を減らすことができる。

B. 問題提供

本研究の目的は：

1. ジャカルタ国立大学の日本語学科の4学期の学生の使役用法の誤用レベルを知るためである。
2. 使役の誤用の要因になるということを知るためである。
3. どうやって使役の誤用を減らすか、その解答を調べるためである。

C. 解決

本研究は使役の用法に対する誤用分析を行った。誤用分析というのは外国語の学習者による使われている目標言語とネイティブスピーカーによる使われている言語の違いである。

使役の用法についての理論はいくつかある。「皆の日本語初級 II: 教え方のテ引き」と言う本によると、使役文は上位者が下位者にある行為を強制したり、下位者の行為を許可・容認したりする場合に用いられる。

使役動詞の構成は以下のようなものである：

A. I グループ動詞

辞書形		使役形
買う	→	買わせる
たつ	→	たたせる

B. II グループ動詞

辞書形	ます形	使役形
食べる	→ 食べます	→ 食べさせる

C. III グループ動詞

辞書形	使役形
する	→ させる

くる → こさせる

Iriantini (2006) によると、使役のはイとナ形容詞にも使用することができる。使役のルールは以下のようなものである：

1. イ形容詞 + させる

おおきい+させる ⇒ おおきくさせる

2. ナ形容詞 + させる

きれい+させる ⇒ きれいにさせる

動詞の分類による使役の種類は二つがある：

a. 他動詞の使役能

他動詞の使役というのは目的語をとる動詞を使用する使役の文。小泉(2006)によると他動詞の使役の例文は以下のようである：

$N1$ *ga* $N2$ *ni* $N3$ *o* Vt^{\sim} *saseru*

① 太郎がうなぎを食べます。

(他動詞の文)

② お父さんが太郎にうなぎを食べさせます。

(他動詞の使役文)

b. 自動詞の使役能

自動詞の使役というのは目的語をとらない動詞を使用する使役の文。

$N1$ *ga* $N2$ *o* Vi^{\sim} *saseru*

③ 子供たちが遊びます。(友松, 2004)

(自動詞の文)

④ 先生は子供たちを遊ばせた。

(自動詞の使役の文)

皆の日本語 II 教え方の手引き (2001) の中に, 下位者は上位者に許可・容認またはある行為を頼む。

Vt/i~saseru + te itadakemasenka

㊦ じつは来週の金曜日に友達の結婚式があるので、早退させていただけませんか。

使役の意味は四つがある：

a. 強制

㊦ 足や腰を強くさせるためです。

基本的に ㊦といった例文は人に何かをさせることという使役の意味です。強制的な意味の使役は一番多くて、文の中に無生物の動作主と「を」という上司を使用する。

b. 許容

㊦ お母さんが子供にアイスクリームを食べさせます。

使役主は動作主がある行為をすることを容認するという意味の使役です。

c. 誘発

㊦ そして、王様をこまらせます。

「誘発」は、ある事柄・きっかけで引き起こしたことを表します。「困る」「驚く」「泣く」などの感情を表す自動詞が多く使われる。

d. 因果関係の使役

㊦ 神戸まで車を走らせる。

結論

この研究は化学的な手続きで起こった出来事や事柄を説明するデスクリプティブメソッドを用いる。研究の対象はジャカルタ国立大学の4学期で、2011/2012学年度の文法科目の参加者である。

調査の結果によると、他動詞の使役の誤用パーセンテージは38.05%、「cukup rendah」「結構低い」誤用レベルに属する。自動詞の使役の誤用パーセンテージは「44.55%」「sedang」「やや」誤用レベルに属する。

アンケート調査の結果によると、使役の誤用の原因は内因と外因に分けられている。内因は用法条件についての無認識で、大学生の勉強方法である。外因はそれは学習のメディアや難しいレッスンの内容などである。

結論

調査の結果によると他動詞の使役のパーセンテージは38.05%、「cukup rendah」「結構低い」誤用レベルに属する。自動詞の使役の誤用パーセンテージは44.55%「sedang」「やや」誤用レベルに属する。

アンケート調査の結果によると、使役の誤用の原因は内因と外因に分けられている。内因は用法条件についての無認識で、大学生の勉強方法である。外因はそれは学習のメディアや難しいレッスンの内容などである。

その問題の解決は：

1. 学習者はもう一度教えられた使役を勉強すること。
2. 学習者は勉強しているとき、教科書だけでなく他のメディアで勉強がおすすめである。
3. 学習者は使役の用法は友達とだけでなく、ネイティブスピーカーにも練習すること。
4. 教師は学習者をおしえるとき、同士の変化や助詞の使うことや使役の意味や特別な用法について詳しく説明すること。